誉れの夜（ライラトゥル＝カドゥル）を、信仰と褒美への望みをもって礼拝する者は、それ以前に犯した罪を赦される。

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の言葉として、このように伝える：「誉れの夜（ライラトゥル＝
カドゥル）を、信仰と褒美への望みをもって礼拝する者は、それ以前に犯した罪を赦される。」 [真正] [二大真正集収録の伝承]

このハディースは、誉れの夜（ライラトゥル＝カドゥル）の徳と、それを求めることの推奨についてのものである。誉れの夜（ライラトゥル＝カドゥル）とその徳を信じ、それによってアッラーからの褒美を望み、体面や評判など真摯さや褒美への期待の気持ちを損ねる不純なものが入り込むことなしに礼拝できた者は、それ以前に犯した全ての小さな罪を赦される。なお、アッラーの権利に関する大罪については、誠実な悔悟が必要である。他人の権利に関することであれば、悔悟することはもちろんのこと、その人物の権利を満たす必要がある。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/4202